

IEEE-488.2対応GPIBボード GP-IB(PC)L

GP-IB(PC)Lは、GPIBインターフェイスを持つ外部装置とパラレル転送を行う、ISAバス準拠のインターフェイスボードです。このボードは、パソコン本体のISAバス拡張スロットに実装して使用します。



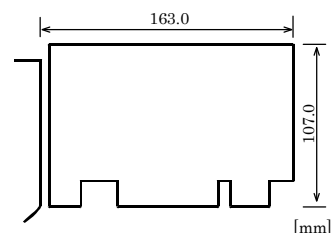
特長

- IEEE-488.2規格に準拠していますので、この規格で定められた各種外部装置と信号の授受が行えます。
- GPIBコントローラとして当社製FPGA(mPD7210C互換)を使用し、長期安定供給が可能です。
- データは、最大約120Kbyte/secの転送レート(DMA転送の場合は、最大約400Kbyte/sec)で送受信を行うことができます。また、DMAチャネルの設定はソフトウェアで行います。
- スレーブ側の割り込み(IRQ9~15)が使用可能です。
- 割り込み設定はソフトウェアで行うため、ハードウェアの設定が不要です。
- アプリケーションで使用できるタイマ機能を搭載し、Windows環境での使用においても正確な時間監視が行えます。
- GPIBバスライン読み出し機能により、アプリケーションからのライン変化で各処理が行えます。(ラッチ機能付き)

仕様

項目	仕様
チャンネル数	1チャンネル IEEE-488.1, 488.2(GPIB)規格準拠
転送形式	8ビットパラレル・3線ハンドシェイク型
転送速度	400Kbyte/sec Max.
信号論理	負論理 Lレベル ... 0.8V以下 Hレベル ... 2.0V以上
割り込み	1点(IRQ3~7, 9~12, 14~15)
ケーブルの総和の長さ	20m以下
機器間のケーブル長さ	4m以下 *1
接続可能な機器数	15台 Max.
I/Oアドレス	32ポート占有
消費電力	DC5V 350mA Max.
使用条件	0~50°C, 20~90%(ただし、結露しないこと)
外形寸法(mm)	163.0(L)×107.0(H)
ボード本体の質量	130g

■ボード外形寸法



ケーブル・コネクタ

■ケーブル(別売)

GPIBケーブル : PCN-T02 (2m)

GPIBケーブル : PCN-T04 (4m)

■コネクタ(別売)

GPIBコネクタ : CN-GP/C

ケーブルを接続する際、ケーブルがパソコン本体または外部装置と干渉する場合に有効です。

商品構成

- GP-IB(PC)Lボード…1
- 解説書…1
- 登録カード&保証書…1
- 登録カード返送用封筒…1
- Question用紙…1

サポートソフトウェア

■ドライバライブラリ API-PAC(W32)

当社ハードウェアへのコマンドをWindows標準のWin32API関数(DLL)形式で提供するドライバソフトウェアです。Visual BasicやVisual C/C++などのWin32API関数をサポートしている各種プログラミング言語で、当社ハードウェアの特色を活かした高速なアプリケーションソフトウェアが作成できます。

また、インストールされた診断プログラムにより、ハードウェアの動作確認にも利用することができます。最新ドライバおよび差分ファイルのダウンロードサービス(<http://www.contec.co.jp/apipac/>)も行っています。詳細は、CD-ROM内のHelpまたは当社ホームページを参照してください。

<動作環境>

主な対応OS Windows XP、2000、NT、Me、98など、
 主な適応言語 Visual C/C++、Visual Basic、Delphi、Builderなど、
 その他 ライブラリソフトウェアごとに50MBの空き領域を持つハードディスクが必要

■LabVIEW対応GPIBドライバ API-GPLV(W32)

(API-PAC(W32) CD-ROM同梱)

API-GPLV(W32)は、"National Instruments"社GPIB関数スタイルで作成されたドライバであり、LabVIEWで動作するGPIBシステムおよび、既存のアプリケーションを流用して当社製GPIBボードを制御するためのソフトウェアです。また、インストールされた診断プログラムにより、ハードウェアの動作確認にも利用することができます。最新ドライバおよび差分ファイルのダウンロードサービス(<http://www.contec.co.jp/apipac/>)も行っています。詳細は、CD-ROM内のHelpまたは当社ホームページを参照してください。

<動作環境>

主な対応OS Windows XP、2000、NT、Me、98など、
 主な適応言語 LabVIEW、Visual C++、Borland C++、Visual Basicなど、
 その他 ライブラリソフトウェアごとに20MBの空き領域を持つハードディスクが必要

■計測システム開発用ActiveXコンポーネント集

ACX-PAC(W32) (別売)

本製品は、200種類以上の当社計測制御用インターフェイスボード(カード)に対応した計測システム開発支援ツールです。計測用途に特化したソフトウェア部品集で画面表示(各種グラフ、スライダ 他)、解析・演算(FFT、フィルタ 他)、ファイル操作(データ保存、読み込み)などのActiveXコンポーネントを満載しています。

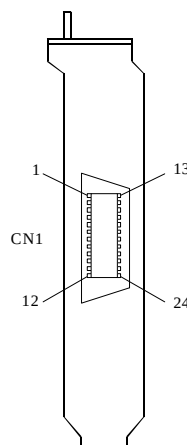
アプリケーションプログラムの作成は、ソフトウェア部品を貼り付けて、関連をスクリプトで記述する開発スタイルで、効率よく短期間でできます。また、データロガーや波形解析ツールなどの実例集(アプリケーションプログラム)が収録されていますので、プログラム作成なしでパソコン計測がすぐに始められます。

「実例集」は、ソースコード(Visual Basic 他)付きですので、お客様によるカスタマイズも可能です。

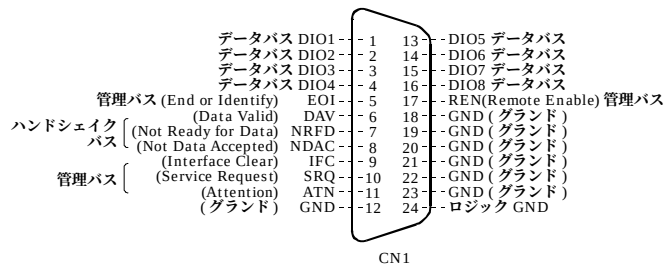
詳細は、当社ホームページ(<http://www.contec.co.jp/acxpac/>)でご確認ください。

インターフェイスコネクタ

ボード上のインターフェイスコネクタを用いて、外部機器と接続します。



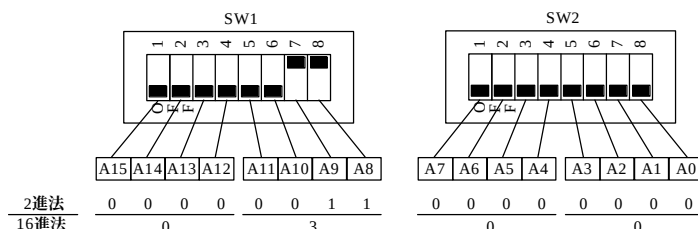
コネクタ(基板) : 555139-2(AMP)
 適合コネクタ(ケーブル) : GPIBケーブル(IEEE-488規格準拠)



I/Oアドレスの設定

先頭I/Oアドレスは、ボード上のディップスイッチ(SW1、SW2)で設定します。SW1とSW2の各ビットは先頭I/Oアドレスの16ビット(A15～A0)に対応しています。

SW1とSW2の各ビットのON、OFFは先頭I/Oアドレスを2進数に変換した値を示し、ONが「1」に対応し、OFFが「0」に対応します。



割り込みレベルの設定

このボードで割り込みを使用するかどうか、使用する時はどの割り込みレベルを使用するか、ソフトウェアで設定します。

◆注意事項

当社製ドライバソフトでは必ず割り込みを使用します。
他の機器で使用している割り込みレベルと重複しないように設定してください。

◆設定方法

ボード上の設定はありません。
ドライバソフトで使用する割り込みレベルを設定します。
設定可能な割り込みレベルはIRQ3～7、9～12、14～15です
(XTバスはIRQ2～7となります)。

DMAチャンネルの設定

このボードでDMA転送を使用するかどうか、使用する時はどのDMAチャンネルを使用するか、ソフトウェアで設定します。

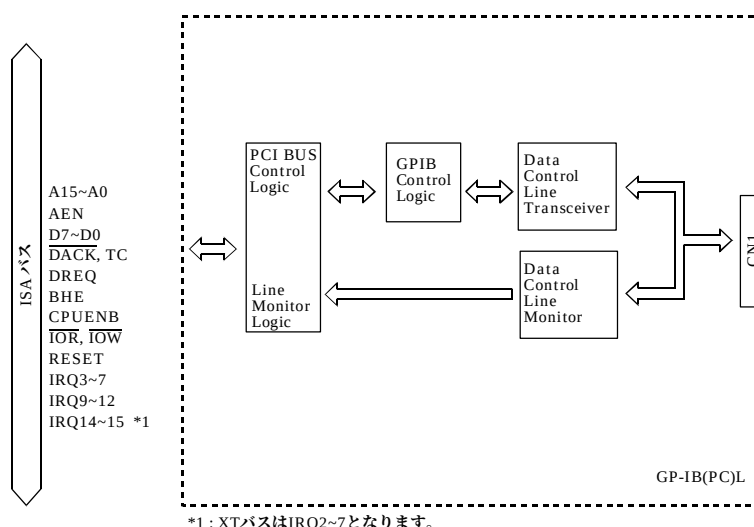
◆注意事項

DMAチャンネルを使用する場合、他の機器で使用しているDMAチャンネルと重複しないように設定してください。

◆設定方法

ボード上の設定はありません。
ドライバソフトで使用するDMAチャンネルを設定します。
設定可能なDMAチャンネルはCH1～3です。

ブロック図



製品の価格・仕様・色・デザインは、予告なしに変更することがあります。